

# TSK 「社会福祉法人つどいの家」

## 後援会だより ~第98号~

発行日：2022・12・22



### コロナ禍でも一歩ずつ地域の方々との交流を

### はじめています！！



☆仙台つどいの家(左上)・つどいの家・コペル(右上)は規模を縮小しながらも、4年ぶりとなるバザーの開催です。地域の方にも喜んでいただきました。

☆若福センターの利用者さんが地域のお店へ募金箱の設置回収をしてくれています(左中央)

☆八木山つどいの家の利用者さんが尚絅学院大学のゲストスピーカーに招かれました。(左下)

☆お隣の八木山動物公園駅前でのガーデン作業。(右下)



# ドキュメンタリー映画

## 「普通に死ぬ ～いのちの自立～」 上映会報告

2022年10月26日(水)宮城野区文化センター・パトナシアターにて、後援会・法人主催の上映会を開催いたしました。

上映作品は題名にもある通り「死」や「いのち」について深く考えさせられる内容で、重いしょうがいのある方が家族を失い、厳しい現実の中で希望を見い出そうとする姿がありのままに描かれています。一方で、しょうがいのある我が子に先に旅立たれた親は「子どもが生きていた頃は、子どもが死んだ次の日に私たち親が死ねたら良いねなどと夫婦で話していたが、なんてバカなことを考えていたのか。親がいなくなった後も、子どもが長く生き続けられるよう願うのが親として当然であったことに今になって気づいた。」という言葉と共に、残りの人生を悔いなく生きようとする様子には心打たれるものがありました。他にも支援者やきょうだいに注目する場面もあり、来場者がそれぞれ自身や大切な人を重ねながら鑑賞できる上映となりました。



今回は3回上映を行ない、そのうち2回目と3回目のアフタートークで貞末麻哉子監督は、その人らしく生きることや支え合うことの大切さをお話くださいました。作品に登場する方々と監督からの言葉を通して、つどいの家が目指す重いしょうがいがある人のいきいきとした自立生活と自己実現、そして共に支え合う地域づくりの理解にも繋がる時間となりました。

集客型の上映会は3年ぶりでしたので、来場者が集まるか非常に不安でしたが、当日は218名と多くの方にご来場いただきました。開催にあたり、ご協力いただきました皆さまに深く感謝申し上げます。(びぼっと南光台 三浦郁美)



映像制作プロダクション  
マザーバード公式HP  
[www.motherbird.net](http://www.motherbird.net)

## 療育手帳が「身分証明」にならない？

先日『発達障害白書 2023』という本を読んでいて、驚きました。アイドルのコンサートに行って、入り口で本人確認のために身分証明書の提示を求められたので、療育手帳をみせたら、正式の証明書ではないと入場を拒否されたというものです。最近、人気のあるコンサートでは、チケットの転売を防ぐために本人確認を行っているそうです。その際、身分証明書として有効なものとして「障害者手帳」がリストに入っていたにもかかわらず、です。主催者側の説明によれば、「障害者手帳」とは国の法律によって定められたものであり、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳は該当するが、療育手帳は該当しないとのことだそうです。ネットで検索してみると、確かにこうした事例はあるようです。確かに、療育手帳は、都道府県の条例や要領に基づいて発行されているので国の法律で定められたものとはいえません。私は、療育手帳は公的機関が発行し、かつ写真が貼ってあるので、当然正式な身分証明書として使えると思っていましたが、銀行などでも手続きに際して療育手帳と他にもう一点、身分証明書となるものの提示を求められることもあるようです。



では、療育手帳は正式の身分証明書にならないのでしょうか。いままで、療育手帳を示して「これは身分証明書ではない」と断られたことはありません。知的障害が何かという定義がなされていない現状で、法律の裏付けがないという発言は「正確を期した」かもしれませんが、「正しい」理解とは言えません。なぜならば、療育手帳はしょうがいのある人が公的なサポートを受ける資格があるという公的な証明だからです。おそらく問題はコンサートの主催者の側のしょうがい者に対する認識不足/差別意識に起因しているのではないかと思います。私たちはこうした理不尽な扱いを受けた時、黙せず議論の舞台上に挙げていくことで、社会の理解を広げていけなければならないと思います。後援会はその橋渡しになる存在でありたいと思っています。(後援会副会長 高橋 和)

### なりきりコンテストやっています！

昨年度のヘアコンテストに続き、今年もしょうがい者の「私はこれになりたい！」を応援する企画「なりきりコンテスト」をやっています。今年度は、ヴァージョンアップして、全身コーデにチャレンジします。憧れていても無理と諦めていたり、自分では思いつかなかったけれどこれならやってみたいと思える「変身」を応援しています。

うれしいことに、今年度は太陽生命福祉財団からこの企画に助成金をいただきました。第一弾は、八木山つどいの家でウェディングドレスを試着してみました。これからいろいろな変身グッズをもって各事業所を回っていきます。着付け、フィッティング、写真撮影などのちょっとだけご協力をいただける方、実行委員会までご連絡いただくとありがたいです。

連絡先：電話 022-274-2431 (高橋 和)

Email: [tsudoinoiekouenkai@gmail.com](mailto:tsudoinoiekouenkai@gmail.com)



## 地域の〇〇さん

仙台市若林障害者福祉センター生活介護事業は、つどいの家の日中通所施設の中で5カ所目に開所し、「仙台市」とあるように仙台市が設置し、つどいの家で運営・実施している事業所です。仙台つどいの家や八木山つどいの家、つどいの家・



コペル、つどいの家・アプリの日中通所施設と利用者・職員の規模が異なり、少人数で日々活動しています。

私たち若林障害者福祉センターは毎年、美術の公募展や展示会に応募や出品しています。仙台市水道局主催の『あなたの身近な水風景作品コンテスト』や『Art to You 東北障がい者芸術全国公募展』、奈良県で開催される『ビッグ幡 in 東大寺』、『六郷市民まつり』など等、公的・企業主催に関わらず、1年を通し多種多彩な公募展・作品展に出席・応募しているため、創作活動はスケジュールがみっちりです。そのような中、10月に開催される『若林区民ふるさとまつり わたしの作品展』には例年、個人作品や利用者合同作品を展示しています。ある年、1人のお客さんから「今年も〇〇さんの作品いいわね。」と声を掛けられました。出品作品には、作者名と作品名を必ず付けているので、事業所の名前ではなく、「〇〇さん」と覚えてくださった方がいらっしやっただけです！私たちは常々、「しょうがいのある〇〇さん」ではなく「何処どこの〇〇さん」と、個人として活躍できるように日中活動を展開してきました。利用者さんと直接の関りは有りませんでした。このお客さんの言葉は、まさにこれが体现された出来事だと思っています。コロナ禍で、思うように活動が出来ない事がありますが、日々を積み重ねる中でおひとりおひとりが地域の中で活躍できるよう、これからも活動を繰り広げていきます。

(若林福祉センター 小原弥生)

### \* 新型コロナ感染対策 どうしていますか \*

\* 「つどいの家連合保護者会」から、ご家庭で感染があった場合に必要となることがらをまとめた『コロナ感染した時の知恵袋』が発行されました。

- ① 感染前の準備としての隔離部屋の想定・準備物
- ② 感染が疑われる発熱・コロナと診断されたら
- ③ 季節性インフルエンザとコロナが流行して発熱などの症状が出たら
- ④ 陽性になった方の療養期間・同居している方の待機期間などの情報がコンパクトにまとめられています。

後援会では、「連合保護者会」のご理解を得て、保護者会員以外の後援会会員の皆様にもお届けすることとし、同封いたしましたので是非ご一読いただければ幸いです。

#### \* 「つどいの家連合保護者会」について

社会福祉法人つどいの家の各事業所には「保護者会」があり、その連合体として「連合保護者会」が組織されています。

そこでは主に、法人と連携した保護者向けの研修会の開催や保護者の立場からの行政への働き掛けなどの活動が行われています。



### \* つどいの家後援会会員募集 \*

～法人つどいの家 基本理念～

どんなに重いしょうがいのある人も、地域で差別されることなく、いきいきと自立した地域生活ができるよう自己実現の場を保障し支援すること

施設整備をはじめとするサービスの充実により一層の資金が必要となっています。つどいの家を支える後援会の活動にご賛同ご協力をお願いいたします。

#### ■年会費

- ・運営会員 3,000 円 \*議決権あり
- ・賛助会員(個人) 3,000 円以上 \*議決権なし
- ・賛助会員(団体) 10,000 円以上 \*議決権なし
- ・協力会員(募金箱設置やポスティング等の協力)

郵便振込02280-5-30214

「つどいの家」後援会

振込手数料を後援会で負担する振込票をお送りしますので、ご希望の方は事務局(022-781-1571)までご連絡ください。